

「いしかわ食の安全・安心シンポジウム」

あいさつ：

皆さん、こんにちは。

ただいまご紹介にあずかりました石川県健康福祉部長の木村でございます。

本日、「いしかわ食の安全・安心シンポジウム」を開催させていただきますが、それに先立ち主催者を代表いたしまして、一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

皆様方は、食を巡る様々な情報を報道機関などを通じ、お知りになっているかと思いますが、BSE問題・輸入食品の残留農薬問題・健康食品の安全性の問題など、話題に事欠かないほど巷には食の問題が溢れております。

消費者の皆様方は、食の安全に対する不安を日々お感じになっているのが現状だと思います。

食の安全の確保におきましては、生産者の方々、製造・加工事業者の方々、流通や販売事業者の方々もそれぞれの立場で安全を確保していただくことが重要ではありますが、食品を購入された消費者の方々も冷蔵庫の衛生管理をしっかりとするなど、自らの安全の確保に務めていく必要があるかと思っております。

その前提として我々が食というものの理解を少しでも深めていくことが重要でございます。その食の理解を深めていくためには、生産者をはじめとする事業者の方々の正確な情報を提供していただくことも必要でございます。

併せて、この両者がよく話し合いながら理解を深めていくということがなによりも必要でございます。

私ども県におきましては一昨年より、食の安全に関する県の施策推進の基本指針となります基本方針を策定し、それ以来、いわゆるリスクコミュニケーション対話と言いましょか、この食に関する対話を進めてきております。

本日は特に“食に関する情報”というものをテーマにしてこの対話を進めていきたいと考えております。

内閣府から高橋専門委員におこしいただき、「食品の情報を見極める」という題で、食の情報というものがいかに大事か、情報を見極めるということがいかに大切であるかということについて基調講演をしていただくこととなっております。

それに引き続き、パネルディスカッションという形で生産者や消費者の方々、報道機関の方々と交えて「消費者として安全で安心な食品を選ぶために」ということで幾つかの代表的な問題などを参加者の皆様から、既に質問事項として寄せられているようですので、その質問事項を中心にパネルディスカッションを行っていくという志向で進めさせていただきたいと思っております。

いずれにしましても食の問題は、我々にとって非常に身近なことでございますので、真剣に議論していく必要があるかと思っておりますので、どうか真摯にお聞きいただき、遠慮なくご質問等がございましたらしていただきますようによろしくお願い申し上げます。

本日は、何とぞよろしくお願ひ申し上げます。